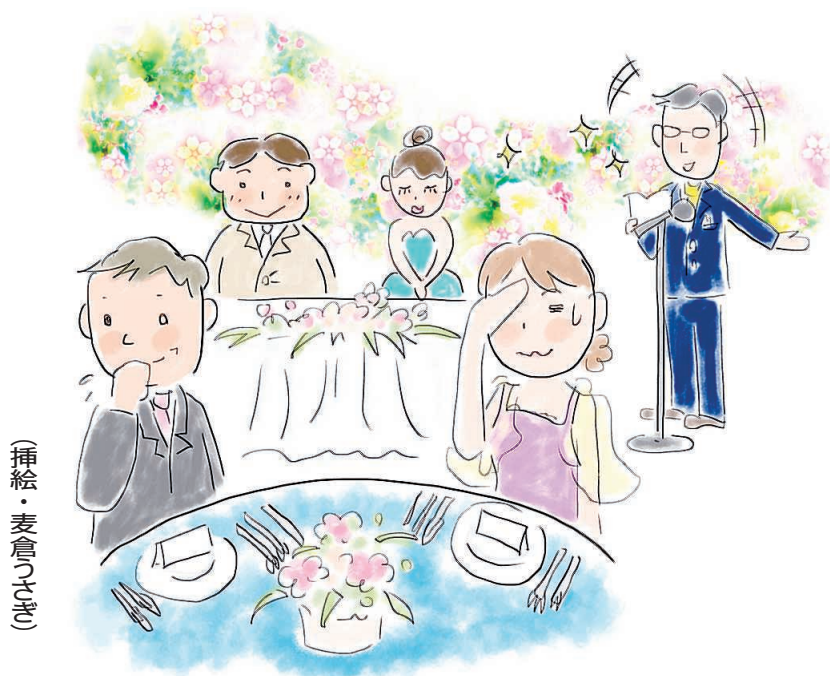


課題2

歯の浮くようなお世辞並べて



(挿絵・麦倉(むぎ))

優秀賞

ほめられて伸びるタイプの子に育ち

(松江 桑谷 夢)

四世代続く老舗(しにせ)の婿養子
オレオレといない息子が電話くれ
青い目の女将(おかみ)すっかり板につき

(東京・狛江) 小川かをり
(浜田) 勝田 艶

同僚がついに吹き出す披露宴

(江津) 花田 美昭

大賞

第4回

連歌大賞

入選作品発表

さんいん

ユーモア

山陰中央新報社の第4回「さんいんユーモア連歌大賞」(後援・島根大「やみつ」は会)の受賞作が決まった。大賞は、課題1が出雲市東福町の岩本ひろこさん、課題2は江津市波積町の花田美昭さんの作品がそれぞれ選ばれた。日本古来の歌のかたち「連歌」を多くの人に親しんでもらうのを目的に、全国から作品を募集。課題1「あっさり」と謝れば済む人違い」に七七の付句、課題2「歯の浮くようなお世辞並べて」に五七五の付句が寄せられた。応募総数は998点(課題1＝472点、課題2＝526点)だった。審査は本紙文化面の連載「レッツ連歌」「レッツ連歌スペシャル」の選者や、やみつは会のメンバーなどが担当。1課題につき大賞1句、優秀賞10句、佳作5句を選考した。

審査員

委員長

下房 桃菴

(松江) 島根大名誉教授

委員

小豆澤悦子

(松江) レッツ連歌挿絵担当

石川アキオ

(益田市) 切り絵愛好家

植田 延裕

(松江) 交通局職員

黒田 光

(益田市) 詩人

山崎まるむ

(松江) フリーライター

要木 木純

(松江) 島根大教授

選評



女性の活躍目立つ

課題1の大賞は、人違いだ許せますが、それもいつかはあったけれど、それがこくやると、パトカーのおきっかけで同郷の人だと気が世話になる。ばつの悪い思付く。どちらからともなく、いのままで「三分少々は、一杯やりませんか」、ずいぶん長く感じるものというわけで。「お国訛り」です。課題2の大賞は、お世辞が誘う」という表現が目に



過去の入選作品はこちらから

課題1

あっさりと謝れば済む人違い



(挿絵・Azu)

優秀賞

話がついに素粒子になり

(松江) 田中 堂太

当確が出たニュース速報
きれいですねと余計な一言
オレオレ詐欺を諭すばあちゃん

(安来) 根来 正幸
(出雲) 放ヒサユキ
(松江) 小谷由紀子

大賞

お国訛りが誘う居酒屋

(出雲) 岩本ひろこ

佳作

黄門様を叱る代官
振った手降ろす体操のフリ
いつの間にやらパトカーも来て
宇宙旅行はみな宇宙服
少女マンガのような展開
降りる駅まで二分少々

(米子) 板垣スエ子
(沖縄・石垣) 多胡 克己
(松江) 水野貴美子
(隠岐の島) 大田 有子
(出雲) 岡 佳子
(出雲) はなやのおきな
(松江) 桃屋 壽
(益田) 石田 三章
(益田) おおいし
(松江) 米村 光生
(雲南) 横山 一稔

佳作

ママ友になるかならぬか探り合い
懐にスルリと入る次男坊
ニッコリと受け止めるのも年の功
セールスはまず奥さまを狙い撃ち
UFOにさらわれたけど無事帰還
黒いもの黒いと言える定年後

(松江) 勝部 政子
(出雲) 野村たまえ
(美郷) 芦矢 敦子
(奈良・奈良) 皆木みち子
(松江) 宮本朝陽香
(安来) 津森 玲子
(松江) 今井 ヒロ
(雲南) 妹尾 福子
(江津) 服部 千恵
(飯南) 塩田美代子
(出雲) 行長 好友
(松江) 今井 ヒロ

(一部添削した句があります。ご了承ください)